

□ 要請番号 (NJ30921A03)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ブラジル	G182 小学校教育		日系	交替 5代目	2年	・ 2022/1

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

トメアスー文化農業振興協会

2) 配属機関名 (日本語)

トメアスー日系学校
日系社会

3) 任地 (パラ州トメアスー市) JICA事務所の所在地 (サンパウロ市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (飛行機+車で約7.5時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

トメアスー市はブラジル北部に位置し、地域では最古にして最大の日系人集住地である。いち早くアグロフォレストリーへの転換を図った事でも知られている。2019年に移住90周年を迎えた。配属先機関の母体は文化と農業が統合された日系団体であり、現在では日本文化の普及・継承、学校運営、現地警察と連携した防犯対策、地域の関係団体と連携したアグロフォレストリー小農家への普及、スポーツ・文化事業など、様々な機能や役割を果たしている。過去に教育関連のJICA海外協力隊員を11名(日本語教育7名、小学校教育4名)を受け入れている。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

配属先の母体であるトメアスー文化農業振興協会は地域に根付いた子弟の教育に取り組んでおり、若年世代の地域離れを防ぐため、2002年にトメアスー日系学校(ブラジル政府認可の私立小・中・高等学校)を設立した。同校へは日本政府の草の根無償資金協力により、教室・職員室・事務所等が拡充されている。同校に日本の優れた教育手法を取り入れる事、及び日本との文化交流を深める事を目的としてJICA海外協力隊員が要請されている。これまでに派遣された隊員は、生徒自身による整理・清掃の意識付けや、体育・算数・音楽教育等について協力し一定の成果を収めてきた。また、隣接する日本語学校では日本語の授業も行っており、引き続きの支援を要請されることとなった。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

配属先の同僚と共に以下の活動を行う。

- 得意分野(音楽・体育・美術・算数等)を活かして現地教師の授業協力・補佐を行う。
- トメアスー日本語学校にて、日本語の授業(主に会話や日本文化紹介)を行う。
- トメアスー日本語学校にて、現地教師による授業(文法等)の補佐を行う。
- その他、日本祭りや盆踊り等、配属機関主催イベントの企画・運営への協力を行う。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

PC、プリンター、コピー機、日本語教材(『みんなの日本語』)

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚: 日系学校校長(60歳代日系女性)、日本語学校校長(40歳代日系女性、日本語可)、協会事務局長(40歳代日系男性、日本語可)

活動対象者: 日系学校および日本語学校の生徒(6歳から17歳)約220名 (日本語初-中級)

5) 活動使用言語

ポルトガル語

6) 生活使用言語

ポルトガル語

7) 選考指定言語

【資格条件等】

[免許]：(教諭免許(校種・教科不問))

[学歴]：(大卒) 教育学 備考：生徒への教育が必要なため

[性別]：() 備考：

[経験]：() 備考：

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(熱帯雨林気候) 気温：(20~35℃位)

[電気]：(安定)

[通信]：(インターネット可 電話可)

[水道]：(安定)

【特記事項】

・派遣時には、COVID - 19の収束状況如何により、「予定されている活動内容」に変更が生じる可能性がある。
・日系学校での授業実施にはブラジルの教員免許が必要なため、主に現地教師の補助として授業に入る事となる。またポルトガル語でコミュニケーションを取る必要があるため、早期語学力習得が強く望まれる。